



DIDIM (ディディム) の活用が始まりました



5月下旬にCAセガジョイポリス(株)と大洗町が包括連携協定を結んだことにより、本校にDIDIMが設置されました。これは、床に投影された画面に合わせて運動ができる機器(室内型ARプレイグラウンド)です。数字を使った脳トレーニングやじゃんけん、障害物レースなどゲーム感覚で楽しめるフィットネス、体力トレーニングなど、目的に合わせて選ぶことができる多様なプログラムがあります。現在は、各クラスで、体育や学級活動などの授業で活用し始めました。子供たちは、あっという間に使い方を覚え、順番を守りながら楽しんで取り組んでいます。1階多目的室脇のふれあいコーナーに常設しましたので、来校の際にぜひご覧ください。

9/4 小中合同縦割り班活動



ロング昼休みを活用して、今年度初めての小中合同縦割り班活動を行いました。まず、中学3年生がリーダーとなり、名前や休み時間の過ごし方などの自己紹介をしました。その後、身振りだけで誕生日順に並ぶ「バースデーライン」というゲームを行い、最後には集合写真を撮りました。あこがれの中学生との活動に、少し緊張気味の子供たち。同じ敷地内だからこそ活動ができました。

9/11 1年生ふれあい学級



「大洗海の大学」から松澤様を講師としてお招きし、シェルマグネットづくりを行いました。子供たちは、保護者の方と一緒に大喜びです。大洗の海で採取された貝殻やカラフルなビーズなどを楽しく飾り付け、世界に一つだけの素敵なマグネットに仕上げていました。学年委員さんをはじめ、保護者の皆様には、子供たちのために豊かな時間をつくっていただき、ありがとうございました。



9/12 お囃子・太鼓体験

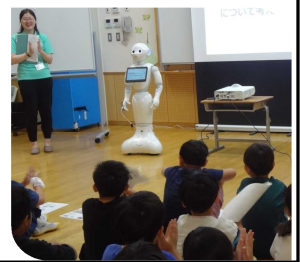


伝統文化クラブでは、大洗芸術文化協会会長の小野瀬様をはじめ6名の地域の方を講師にお招きし、お囃子や太鼓の体験を行いました。八朔祭りでやっている演奏を聴いたり、太鼓の叩き方をご指導いただいたりと、日本の伝統に触れる機会となりました。子供たちが、様々な経験を通して、町の行事や伝統にさらに興味をもち、郷土愛を深めていくことを願っています。



9/13 3・4年生 SDGs授業

大洗町まちづくり推進課の主催によるSDGsの達成に向けた授業が行われました。Pepper (Softbankの開発した人型ロボット)を活用した授業に、子供たちはわくわくしながら楽しく学んでいきました。県内の企業の取組をもとに17の目標を確認したり、自分で達成したい目標や具体的な行動を考えたりしました。今後も、SDGsを意識し、考え行動できるように、様々な学習を展開していきたいと思っています。



先生たちも学び続けます



9月9日(月)、早稲田大学名誉教授の小林宏己先生を講師としてお招きし、第2回小中合同授業研究会を行いました。午前中は、中学校の保健体育科・社会科の授業を、午後は小学校3年生の図画工作科の授業を参観しました。放課後には、小中の先生方で参観した授業について意見を交わし、小林教授からの助言指導をいただくなど、充実した研修となりました。今後も、11月23日(土)の第19回教育実践研究発表会に向けて小・中学校で連携しながら研修を積み重ね、主体的・対話的で深い学びのある授業の工夫・改善に努めていきます。

